



いつだってぼくらは
永遠の友達さ

市民ミュージカル

君といた夏

～スタンドバイミー可児～



黒田百合 <演出家>



キャストは小学1年生から 78歳まで！ 愛される市民ミュージカル 「キミナツ」開幕



2012年に初演されて以来3年毎に公演を重ね、3月に4度目の上演を迎える「君といた夏 スタンドバイミー可児」は、地元を題材にした市民ミュージカルだ。コロナで延期を余儀なくされてきたが、参加する市民、特に主役を演じる少年たちの舞台にかける情熱は途切れることがなかった。初演から携わる演出家、黒田百合さんに話を聞いた。

――主演が5人の子どもたちというのは驚きです。

この作品には「仲間・友情・命」という3つの大きなことが込められています。例えば、森で見つけたホタルの中にヒロミの亡くなった友人を想う場面があります。森というのは命が育まれ、命が朽ちても新しい命が芽生えてくる場所。子どもたちは冒険によって、命のほかなさ、強さ、優しさを学んでいます。また冒頭に出てくるマコト一家、彼らが昭和49年当時を思い出して、家族が再生していく物語でもあります。出演者92人のうち30人は前回までに出演経験があつてリピーター率が高く、世代も小学1年生から78歳までと幅広い。本当に市民に愛されている作品だと思います。裏で支えるサポーターも14人いるんですよ。社会包摂型の劇場であるアラは、文化芸術を

通して「生きがい」をどう持ってもらおうか考え続けてきて、それを市民に問いかけ、一緒に取り組んできた。だから、みなさん参加してくださるんですよ。

――台本は初演から変わりのないですか。

毎回、出演者に合わせて内容を変えています。主役の子たちには基礎となるキャラクターはあるんですけど、どうしても隙間はできる。そこで「ここは何て言う？」とか子どもたちと話し合い、彼らに寄り添いながら作っていきます。だから毎年カラーが違い、その年の楽しみがあります。子どもたちは自分たちがしようとしたことを実現できて、それを周りが認めた時、成長する。私はそう信じています。教えるとかではなく、子どもたちがつかんでいく、その瞬間に立ち会いたい。それが毎回の課題で、演出として言い過ぎていないか気をつけていますし、彼らが自分自身でより気持ちが入ると思う方法があれば、そちらを選択するようにしています。

――黒田さんは金沢の方ですが、可児はどう見えますか。

初演の時、お腹にお子さんのいる参加者がいたんですよ。その後、彼女はお母さんになり、今回お子さんと参加しています。だから、

先ほどの森の話じゃないですけど、可児には命が巡る、つながっていくイメージがあります。また、今回ミノル役の川合蒼介君はアラの別プロジェクトで3歳の時に会って、「今度はキミナツの虫役で来てね」と話したんですよ。そしたら小1になって、本当に応募してくれた。他にも2015年に不良役で出た橋本征弥君は東京でジャパンアクションエンタープライズ(JAE)に入り、今回のアクションをつけています。2009年のミュージカルに中学生で出た酒井果菜未ちゃんは、振付助手として戻ってきてくれました。まるで鯉が卵を産んでまた遡上するようなことが可児の町で生まれているのを感じますね。



▲元「キミナツ」出演者で、今はプロのアクション俳優・橋本くんからアクションの指導を受ける。



「キミナツ」と「君といた夏」大人から子どもまで、総勢92名

芝居にダンスに歌の稽古と頑張っています！！

▲振付助手のダンサー・酒井さんは2009年「あいと地球と競売人」出演者

「キミナツ」に寄せる期待は？

この作品が次につながってほしいなど、は常に考えてきました。引込み思案だった子が、演劇に出たことで違う自分を出せるようになるのか……。学校や職場など、いろいろなところに波及していくきっかけになればいいなと思いますね。「キミナツ」は、やつつけられたりしながらも少年5人が立ち上がっていく成長の物語であり、空に向かっていくような感覚がある。観に来た人たちが「明日も頑張ろう」と思える舞台にしたいですね。



▲出演者たちと丁寧に向き合い、大所帯を束ねる演出家・黒田さん

最後にPRをお願いします。

昭和49年は、いちばん良い時代だった気がしているんですよ。年配の方にはあの頃を思い出していただきたいし、小さい子たちには「昔はこんな風だったんだ」と知ってもらいたいですね。もう戻ることはいかなければ、大らかな古き良き時代を楽しんでいただけたらと思います。劇中、主役5人が池に飛び込むんですけど、そこは作者の瀬戸口郁さんに

とって非常に思い入れの強いシーンなんですよ。ある意味ノスタルジックですが、泥臭いけれど、人と人がもつと豊かに関わり、つながっていたと言えます。今はつながれない、つながりにくい、孤立してもいい時代。そういう意味でも「キミナツ」は昭和の良さを教えてくれますね。

主役の少年たちも直撃！
5人の言葉にも胸アツです！



梶垣幸成(マコト役)

前回お兄ちゃんが参加しているのを見て応募しました。今回、お兄ちゃん不良役で参加しています。マコトは家が貧しく、お兄ちゃんが死んでいて、お母さんからの愛情が乏しいので家に帰りたくないように思えます。稽古は楽しいけど、泣く場面が難しいです。

川合蒼介(ミノル役)

小さい頃に青虫役で参加した時、ミノルや

カンジ、マコトがかつてよく見えて、いつかやりたいと思っていた。ミノルは仲間を引き連れる立場だけど、ジャイアン的ではなく、優しく温かいリーダー。セリフが速くなり、ちななので、口の動かし方や発音が課題です。

牛谷蒼太(カンジ役)

友だちに誘われて応募しました。カンジはガキ大将のような男の子。お父さんがいなくなつてしまつても、きつと帰って来ると信じていて、お父さんが好きなんだと思います。稽古は、授業と違ってアツという間。本番は家族の期待に応えられるよう頑張りたいです。

大澤一輝(ミツオ役)

前回、青虫役で参加して楽しかったので、また応募しました。ミツオは面白い役柄で、「パシリ」みたいな存在でもあるけど、それが演じていて面白い。主役5人のチームワークもまとまってきたので、あとはセリフをしっかりと入れて本番に向かいたいです。

河合俊太(ヒロミ役)

いろんな年代の人と関わってみたくて参加しました。ヒロミはかつてよくて頭もいいけど、どちらかと言えば子どもみたいでかわい。自分とはタイプが違うので、演じていて楽しいです。お金を払って観に来る方々に、主役のひとりとして最高の本番を見せたいです。

取材／小島祐未子 撮影／多和田晴朗
稽古場撮影／市民サポーター
協力／フリーペーパーMEG



市民ミュージカル

君といた夏

～スタンドバイミー可児～

日時 3/4(土) 18:30開演

3/5(日) 14:00開演 ※開場は開演の45分前

会場 主劇場 料金 全席指定 1,000円

※4才から入場可

発売中

【あらすじ】 昭和49年夏。マコト、ミノル、カンジ、ミツオの同級生4人は、それぞれ家族の問題を抱えながらも元気いっぱい、いつも一緒に遊んでいた。教室でのプロレスごっこ、里山での虫捕り、そして自分たちだけの秘密基地…。彼らは仲間の絆で固く結ばれていた。そんなある日、秘密基地に“部外者”が現れる。名古屋からの転校生ヒロミだ。成績優秀で冷静沈着なヒロミは女子から人気だが、男子たちはその気取った態度が気に入らない。警戒心をあらわにするマコトたちに、ヒロミは思いもかけない話をもちかけてきた。小学生最後の夏休み。まぶしい太陽の下で繰り広げられる、5人の少年たちの冒険物語！

作・作詞：瀬戸口郁

作曲・音楽監督：上田亨 演出：黒田百合

振付：神崎由布子 歌唱指導：満田恵子

主催：(公財)可児市文化芸術振興財団

後援：可児市、可児市教育委員会



情緒豊かな語り、心に響く三味線の音

可児常磐津教室 ^{はる}巴瑠の会 第9回 おさらい会

日時 2/12(日) 13:00

常磐津は歌舞伎の伴奏音楽として江戸時代に流行し、現代まで語り継がれています。巴瑠の会生徒による素浄瑠璃をお楽しみください。

出演：可児常磐津教室 巴瑠の会 講師：常磐津 巴瑠幸太夫

会場 小劇場

料金 入場無料

主催：巴瑠の会



楽しく学ぶ歌舞伎の世界

歌舞伎とおしゃべりの会 2月の会

松井誠の華麗なる歌舞伎ワールド

日時 2/18(土) 14:00

妖艶な舞踊や鮮やかな立ち回りなどで多くの人を惹きつけ、大衆娯楽劇の第一線で活躍し続ける松井誠さん。その魅力はどこから生まれてくるのでしょうか？実は歌舞伎の演出を生かしている華やかで奥深い芸の世界に迫ります。

会場 小劇場

料金 全席指定 1,000円

発売中



ゲスト：松井誠



講師：葛西聖司

アー・キネマ倶楽部 2月 『コーダ あいのうた』

上映時間112分／字幕
2021年／アメリカ／PG12

夢に向かって生きる、爽快で胸熱な感動作！

日時 2/19(日)・2/20(月) 各日10:00 / 13:30

高校生のルビーは、家族の中で一人だけ耳が聴こえるため、家族の“通訳”となっていた。そんな中、学校で合唱クラブを選択するルビー。すると、顧問の先生が歌の才能に気づき、名門音楽大学の受験を強く勧める。だが、歌声が聞こえない両親は娘の才能を信じられず、大反対。悩んだルビーは夢よりも家族の助けを続けることを選ぶと決めるが、思いがけない方法で娘の才能に気づいた父は、意外な決意をする…。

会場 映像シアター

料金 全席指定 900円 25才以下 450円

発売中



黒御簾音楽 一 笛の魅力に迫る

歌舞伎とおしゃべりの会 3月の会

芝居の笛 ～ 笛の魅力・黒御簾の音 ～ 藤舎理生の多彩な技

日時 3/18(土) 13:30

歌舞伎の笛奏者は男性です。しかし黒御簾など蔭では女性の活躍はかかせません。名人・藤舎名生（人間国宝）に入門から40年。横笛奏者、藤舎理生さんの生演奏で芝居の様々な音色を楽しみましょう。

会場 映像シアター

料金 全席指定 1,000円

発売中



ゲスト：藤舎理生



講師：葛西聖司

東日本大震災から12年 ― 復興支援コンサート



日時 3/11(土) 13:45 ※開場 13:00

被災地の長く困難な復興のために、今年もコンサートを開催します。公演の収益と、お客様から頂いた支援金は、被災者の心の復興のために現地で活動している被災者支援団体に寄託します。

会場 主劇場

料金 全席指定 1,000円 ※4才から入場可 発売中

| プログラム |

サラサーテ／ツィゴイネルワイゼン

マスネ／タイスの瞑想曲

J.S.バッハ／シャコンヌ、G線上のアリア ほか

ナビゲーター：佐野秀典（作曲・編曲）



ピアノ：田村響

ヴァイオリン：垣内響太
(岐阜市出身)

【協賛予定】

株式会社カラビナ

株式会社松栄堂楽器 可児店

株式会社トイ・ファーム

株式会社 ワンズ・プランニング

岐阜県舞台設備管理事業協同組合

じゃぱんSANDWICH

ハーモニーワークス

ホテルルートイン可児

丸印印刷株式会社（敬称略・順不同）

アラ・キネマキッズ 上映時間90分
日本語吹替 2011年 アメリカ

Title 『長ぐつをはいたネコ』

なが
長ぐつがあれば、ニャンでもできる!!
みんな一緒になら、世界だって変えられるさ

日時 3/25(土)・3/26(日) 各日10:00 / 13:00

無実の罪で街を追われた、長ぐつをはいたネコのプスは、兄弟分のハンブ
ティ・ダンブティと大冒険へと旅立つ。悪の手から奪い取った魔法の豆に
導かれ、たどり着いた先は、なんと…。そこには想像を超える冒険と罠が待
ち受けていた!

会場 映像シアター
料金 入場無料
定員 各回50名
(電話予約優先・定員になり次第締切)
電話予約 受付中 ☎0574-60-3050

みんな観に来てね!

※感染症拡大防止の観点から、万一来場者から感染症が発生した場合のご連絡
を目的として、入場時にお客様のお名前、ご連絡先をご提供いただきます。
※座席はご家族を除き一席おきで着席していただきます。
※3才以上から入場可。未就学児は必ず保護者同伴の上で来場ください。

新音楽監督の佐渡裕がアラ初登場

佐渡裕×新日本フィルハーモニー交響楽団

日時 4/9(日) 16:00 ※開場 15:15

2023年4月に新日本フィルハーモニー交響楽団の第5代音楽監督に就任する佐渡裕が地域拠点契約を結ぶアラに初登場。ソリストには実力派ピアニスト及川浩治を迎えて、華やかな名曲で新たな門出を祝います。

| プログラム |
グリンカ／歌劇「ルスランとリュドミラ」序曲
ラフマニノフ／バガニーニの主題による狂詩曲
ベートーヴェン／交響曲第7番

会場 主劇場
料金 全席指定 7,000円
25才以下 3,500円

発売中

【公演チケット購入者限定企画】
リハーサル見学&デザートセット
◆公演当日4/9(日) 13:15～15:15
◆定員 30名 ◆料金 1,500円
◆発売期間 3/24(金)まで

2023年度 お得なパッケージチケットは、4 / 15(土)より順次発売!
2023年度の公演をセットにして、20%引きで一般発売よりも早く購入できるサービスです。

発売日 4/15(土) 9:00～	発売日 4/16(日) 9:00～	発売日 4/22(土) 9:00～	発売日 4/23(日) 9:00～
ウェルカムホーム パッケージチケット	まるごとクラシック パッケージチケット	演劇まるかじり パッケージチケット	かに寄席 パッケージチケット
文学座、alaプロデュース作品 などalaおすすめ公演をセットに	選りすぐりの極上クラシックを まとめてどうぞ!	贅沢なライブの観劇体験、 ココロを揺さぶること間違いなし	「納涼」と「初席」をセットで 今年も聴き逃さない!!
9/8(金) 文学座公演『五十四の瞳』 9/9(土) 10/18(水) ala Collectionシリーズvol.14 -10/22(日) 『フットボールの時間』 10/29(日) 上原彩子&神尾真由子 DUOリサイタル 2024年 ウィーン・フォルクスオーパー交響楽団 1/8(月祝) ニューイヤー・コンサート2024	8/28(月) 反田恭平プロデュース ジャパン・ナショナル・オーケストラ 10/29(日) 上原彩子&神尾真由子 DUOリサイタル 2024年 ウィーン・フォルクスオーパー交響楽団 1/8(月祝) ニューイヤー・コンサート2024	9/8(金) 文学座公演『五十四の瞳』 9/9(土) 10/18(水) ala Collectionシリーズvol.14 -10/22(日) 『フットボールの時間』 11/25(土) シリーズ恋文vol.13 11/26(日)	8/19(土) かに寄席 納涼 2024年 1/13(土) かに寄席 初席

チケット取扱 / 可見市文化創造センター・インフォメーション

ネットで予約する <https://www.kpac.or.jp> 24時間いつでも予約可能! ネットでのカード決済も可能。
お支払い・お受取りはセブンイレブンまたはアラ窓口で!

電話で予約する **TEL. 0574-60-3050**
お支払い・お受取りはセブンイレブンまたはアラ窓口で!
9:00～19:00
(火曜休館 / 祝日の場合は開館 翌平日休み)

窓口で購入する 窓口でご利用可能なカード
VISA, JCB, IC, ID, R, Ezy, WARRON, ROBOT

- 発売日は窓口・ネットで販売。電話予約は翌日からとなります。
- 表記のない公演の開場は開演30分前です。
- 振込による代金支払い・チケットの配送サービス(有料)もごさいます。
- 表記のない公演の未就学児の入場はご遠慮ください。託児サービスは中止しております。
- 25才以下のチケット料金は各種割引サービスの対象外です。
- 公演当日の混雑緩和のため、チケットの事前引き取りにご協力ください。また、当日は余裕を持ってご来場をお願いします。

簡単・便利自宅で
チケット予約

インターネット予約

みんなで観ると
最大30%割引!

ビッグコミュニケーションチケット

【ビッグコミュニケーションチケット】

- 4人～5人で10%割引
- 6人～7人で20%割引
- 8人以上は30%割引

※同一日時の公演を同時購入する場合のみ。

残席がダン!ダン!
安くなる!

害50%

DAN-DANチケット

【DAN-DAN チケット】

- 残席がある場合に限り公演日
- 《1週間前から20%割引》、《当日は半額》になります。

※インターネットは0時から。
窓口・電話は9時から。

日	曜	開演 予定	終演 予定	催事名	入場	問合せ
---	---	----------	----------	-----	----	-----

主劇場(宇宙のホール)

4・5	土・日	Ⓐ 18:30 Ⓑ 14:00	Ⓐ 20:20 Ⓑ 15:50	市民ミュージカル 「君といた夏 〜スタンドバイミー可児〜」	詳細は P3	可児市文化創造センター	0574-60-3311
8・9	水・木	Ⓐ 14:00 Ⓑ 10:00	Ⓐ 16:30 Ⓑ 12:00	今渡幼稚園・大栄幼稚園 ひなまつり音楽会	関係者	大栄幼稚園	0574-26-8735
11	土	13:45	15:45	東日本大震災復興支援 祈りのコンサート 2023	詳細は P4	可児市文化創造センター	0574-60-3311
19	日	14:00	16:30	可茂ジュニアウィンドオーケストラ 〜レゾネア〜 第 4 回定期演奏会	無料	山口	090-8471-0827
26	日	16:00	18:00	レスポワール ドゥ バレエ 第 11 回発表会	全席指定 990 円	レスポワールドゥバレエ	0574-42-9444
27	月	18:00	20:00	帝京大学可児高等学校中学校吹奏楽部 第 11 回定期演奏会	無料	帝京大学可児高等学校 中学校	0574-64-3211

小劇場(虹のホール)

19	日	13:00	15:30	ピアノ発表会	関係者	伊藤のり子	090-7959-1291
26	日	14:00	15:30	天神山プラスアンサンブル 第 4 回可児定期演奏会	全席自由 800 円	福田音楽事務所	090-8338-0613

ギャラリー

1～5	水～日	9:00	17:00	可児市文化協会 書道作品展 初日 13:00 から 最終日 15:00 まで	無料	出口久美子	0574-65-9269
11・12	土・日	9:00	17:00	可児市華道連盟 いけ花展 最終日 16:30 まで	無料	鈴木初美	090-7038-8778
15～19	水～日	9:00	22:00	フォト可茂写真展 2023 初日 12:00 から 最終日 17:00 まで	無料	鈴木龍祐	090-7436-5595
23～26	木～日	9:30	17:30	第 28 回 可児アングル展 初日 9:30 から 最終日 16:00 まで	無料	中島繁昇	090-5456-4705

- ・入場者多数の場合、定員以上はご入場いただけません。主催者都合により入場制限をする場合がありますので、整理券等の有無につきましては事前に主催者にご確認ください。
- ・主催者都合により発行後内容が変更になる場合があります。催しの詳細につきましては主催者にお問い合わせください。・劇場につきましては本番ご利用日のみ掲載しております。
- ・駐車場に限りがありますので、公共交通機関の使用等をお願い致します。・1/1 時点での申し込み状況、予定を掲載しています。

アールまち元気部 活動報告会

「アールまち元気部」では、学校の枠を越えてアールに集まった中高生たちが、地域の様々な人々と交流しながら、まちを元気にする活動をしています。これまでala20周年写真展の会場装飾や劇場たいけんツアー、子どもたちへのワークショップ、イルミネーションの装飾作り、地域のイベントへの参加などの様々な活動をしてきました。そんな彼ら彼女らのこれまでの活動を振り返る活動報告会を開催します。

日時 2/26(日) 14:00

料金 入場無料(要事前予約)
※2/4(土)より予約開始

会場 映像シアター





《劇場法》に関する学びの場 『あーとま塾』

さる12月22日(木)23日(金)、今年度最後のセッションとなる『あーとま塾』Step 3を開講しました。

1日目は、現地参加・オンライン受講合わせて約50名の受講者が、ゲストの湯浅誠さん、衛紀生塾長のレクチャーと、ファシリテーターの落合千華さんを交えたQ&Aによるトークセッションに耳を傾け、2日目は、テーマ別(子ども食堂・病院アウトリーチ・大学連携・組織マネジメント)に分かれ、年3回に渡って話し合いを続けてきたロジックモデルづくりの総仕上げを行いました。

国の劇場法が2012年に公布され、アーラは文化庁の「劇場・音楽堂等活性化事業」における最初の特別支援館(2016年・2017年)の一つとなります。そして2018年に総合支援館として5か年採択され(全国16館)、アーラの掲げる《社会包摂型劇場経営》は、全国の文化芸術関係者から耳目を集めることになります。

『あーとま塾』は、大臣指針にも示された「社会包摂の機能を有する基盤」として、この国の7割以上を占める人口10万人以下の中小地方都市における劇場経営に活かすことができるよう、新しい考え方である《社会包摂型劇場経営》の考え方を学ぶ場としてスタートすることになりました。

1泊2日の合宿形式で、1か月後には研修レポートを提出するサイクルを年3回繰り返す「年間通し」の研修会で、担当した私自身、これまでなかなかつながることのできなかった行政側の担当者や市民活動者、経営や評価に関する専門家と出会い、忌憚ない議論の機会を得て、広い視野で経営全体を見直すことの風通しのよさに気付くことがで



きました。

現在、「コロナ禍」によって一変した社会状況の中で、鑑賞と貸館をベースにした従来の経営手法だけでは「不要不急」と捉えられている劇場・音楽堂の本来的な役割を、アーラの実践を通じて考えることは、今後ますますニーズの高まりを見せることになるでしょう。実際に、学校へ行けない、行ってもつながることができない、先生も疲弊していく、高齢者も、子育て中の母親と乳幼児も、外国籍住民も、障がい者も、それぞれに分断され、孤立していくなかで、支援活動すらもやせ細っていく、全てのソーシャルセクターが「つながり」という最重要キーワードを共有すべき状況が生まれてきました。

『あーとま塾』も社会状況のもと、行政×劇場×音楽堂×市民活動×アーティストの《コレクティブ・インパクト(集合的効果)》、それぞれの強みを活かしながら連携して進んでいくチームづくりを地域全体で考える方向へとシフトしていきます。市民の皆さんにもこうした取り組みに参加してもらえるよう、来年度から文化芸術を活かした《プラットフォーム》の構築を進めて行きます。ご興味のある方は是非お問い合わせください。

(顧客コミュニケーション室 室長 栗田)

館長エッセイ

みんなのココロとカラダをつなぐ

可児市文化創造センター館長 籠橋義朗

アールでは子どもたちに向けた事業として、演劇やダンスの要素を取り入れながら子どもたちが「相手の考えを受け入れる力」や「自分のことを好きになる力」を伸ばすことを目的に「コミュニケーションワークショップ」を行っています。対象は、可児市内全小中学校の児童および不登校児童生徒が通うスマイリングルームです。どちらも2013年から続いており、劇場と学校が連携し「生きる力」と「コミュニケーションの創出」を目指すうえで、アールが誇る事業の一つとなっています。

私はこの事業を、教育長時代からずっと見てきました。当初1校から始まった活動でしたが、今では市内の全小学校へと広がりました。学校では、クラスづくりの一環として大変効果があると担任の先生方からも好評です。またスマイリングルームでも子どもたちの様子や活動の方向性については、講師陣や教育委員会と常に話し合いながら進め、連携を図っています。どちらの活動も全員がそれぞれの居場所があることに気づき、違う意見や行動もそれぞれの個性として尊重される仕組みとなっており、子どもたちは他者に対する寛容な気持ち、また他者となつていくことで、自分のココロとカラダをつないで「自分らしさ」を育んでいくのだと思います。ワークショップを体験した児童のアンケートでは「一度も話したことのない子と初めて話して楽しかった」などの感想があり、先生たちからは「やりとりの中で心を解放させて身体全体を使ったり、表情豊かなやりとりをしたりする姿から、子どもたちの底のない可能性を感じました」などの意見が寄せられています。昨年の様子を裏面に紹介しています。ぜひご覧ください。

アールのすべての活動には、文化芸術の創造だけでなく生涯学習や子育ての要素が溶け合っています。だからこそ私たちは、文化芸術が持つ「人の心を豊かにする効果」や「人と人をつなぐ効果」を活用して可児市に住む人々の生活の質向上に貢献することにより、このまちを好きになってもらい、隣人に対する寛容の気持ちを醸成していきたいと思っています。特にこれからの時代を生きる若者や子どもたちには「つながり」の大切さと心地よさを感じてもらえるよう、活動を続けていきたいと思っています。

alaからアーティストを連れて市内の小学校へおでかけ

児童・生徒のためのココロとカラダワークショップ



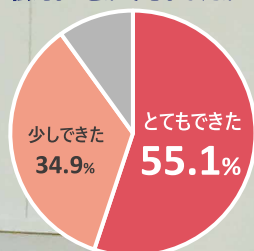
▲身体だけで数字の「3」を表現。自由な発想が面白い！

クラス単位で、ダンスや演劇の要素を用いた活動により、子ども達のコミュニケーション能力育成を目指す『ココロとカラダワークショップ』。

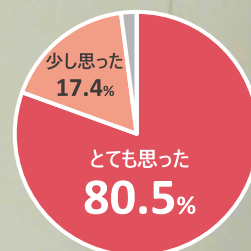
2022年度は可児市内の全小学校11校を訪れ、児童のみなさんと活動しました。(実施30回) 新型コロナウイルス感染症の影響で、約2年ほとんど実施できていなかったこともあり、久しぶりの新井英夫さんチーム、Ten seedsさんの登場に子どもたちも大興奮!ワークショップを経て、子どもたちのココロとカラダが解放され、自分の気持ちを伝えたり、相手の気持ちを受け取ったりしながら、仲間と共に“表現”を楽しむ姿が多くみられました。

ワークショップを体験した子ども達のアンケート結果(一部抜粋)

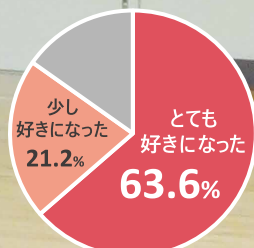
自分の考えた表現や意見を友達に伝えることができましたか?



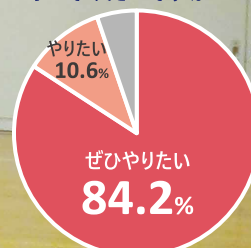
友達の表現や意見を面白いと思えましたか?



自分のクラスがもっと好きになりましたか?



また今回のようなワークショップをやりたいですか?



講師:【ダンス】新井英夫(体奏家)、【演劇】Ten seeds(劇・あそび・表現活動) アンケート回収率:96.3%(参加人数合計854人、アンケート回答数822枚)



Restaurant
たくあん
SANDWICH

2月のおすすめ

モーニング・ランチメニューがリニューアル

じゃぱんサンドイッチでは“美味しい”を求めて、2月中旬よりモーニング・ランチメニューをリニューアル致します。サンドイッチもホットサンドがメニューに加わり、更にパワーアップ!

「たくあん」のお持ち帰りのお弁当もご注文いただけるようになりましたので、是非お試しくださいませ♪

<https://www.takuan-bento.com/>

じゃぱんサンドイッチは、常に新しい提案をして参ります。

TEL 0574-63-5223

営業時間 9:00~20:00

アラ主催・共催公演チケット提示で、公演日から1カ月間、飲食代が10%OFF(一部対象外公演あり) ※お一人様チケット1枚につき1回限り有効

可児市文化創造センター ala

開館時間/9:00~22:30

〒509-0203 岐阜県可児市下恵土3433-139

<https://www.kpac.or.jp>

info@kpac.or.jp

TEL.0574-60-3311 FAX.0574-60-3312



2月は7、14、21、28日
3月は7、14、22、28日

(火曜休館/祝日の場合は開館 翌平日休み)



@kani_ala